

GOLD / / PFEIL

取扱い説明書 INSTRUCTION MANUAL

保 証 規 定

※正常なご使用状態での故障については、ご購入の日より1年間、無償で修理・調整を行いますが、保証書には必ず「お買い上げ日・販売店名」などのご記入がある場合に限りませので、ご購入時に必ず記入されているかお確かめのうえ、販売店からお受取り、大切に保管してください。

※本保証書は再発行いたしませんので、必ず紛失されないよう保管してください。

※修理・調整は保証書をご提示のうえ、販売店にご依頼ください。

※修理をご依頼される前に再度、取り扱い説明書をお読み頂き、正しく操作できるかご確認ください。

また、修理の前にはあらかじめ以下のことをご了承お願いいたします。

(イ) ケース、文字盤、針、ガラス、バンドなどは一部代償部品を使用させていただくことがあります。

(ロ) 修理が困難である場合には修理ではなく同等商品との交換をさせていただくことがあります。

製品の機能を維持するための修理部品の最低保有期間は生産終了から7年です。

(ハ) 修理品をご持参、お持ち帰りなどの交通費、またはご送付される場合の送料はお客様ご負担とさせていただきます。なお、ご送付される際には紛失などトラブルが無いように書留や宅配便などをご利用ください。

※次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。

- (イ) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷 (ロ) 不適當な修理や、改造による故障または損傷
- (ハ) 火災、水害または地震など、天災地変による故障または損傷
- (ニ) ご使用中に生じた外観上の変化 (ケース、ガラス、バンドなどの傷など)
- (ホ) 保証書の字句を書き換えられた場合
- (ヘ) 保証書のご提示がない場合
- (ト) 電池の液漏れによる故障または損傷
- (チ) お買い上げ後の不適當な輸送または移動の際に生じた故障または損傷

※保証期間が過ぎている場合は、販売店にご相談していただき、修理対応できる商品についてはご希望によりますが有償にて修理させていただきます。

※本保証書は保証規定に明示した期間、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の権利を制限するものではありません。

※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

Effective only in JAPAN

【ご使用のまえに】

この時計を末永くご愛用いただくために、本取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

なおこの取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じご覧ください。

(1)防水性について

当社製品の防水性は右記の表で示す区分になっています。ご購入の時計をご確認の上、表をご参考に正しくご使用ください。

非防水時計については、一時的にかかる水滴(洗顔時の水はね・雨など)や汗などにご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合は乾いた柔らかい布で、水分を充分拭き取ってください。

【防水性について】

- 日常の使用でも防水性能を超える場合がございます。
洗車機、シャワー、勢いのある蛇口等規定防水を超える場合がありますので、水圧が時計に当たらない様、注意して下さい。
- ※ 蛇口から勢い良く出した水の水圧は約10BAR
- ※ プールで50センチの水深時、平泳ぎで約10BAR
- 時計内部には、水の浸水を防ぐ為のパッキンがありますが、パッキンは消耗品です。
ご使用期間により、年々劣化（硬化）し防水性能は低下しますので電池交換の際に同時にパッキンも交換していただくことをお勧めいたします。
- ※ 一度、電池交換の為に開けられた裏蓋のパッキンは、極端に防水性能は落ちます。
購入直後の防水性は規定数値よりも高いのがほとんどですが、汗・水等で劣化し防水性は落ちていきます。
- まれに外気と時計内の温度差により、結露（くもり）が生じる事がありますが一時的なくもりはしばらく時間が経つと自然に消えますが、長時間消えない場合は、内部に浸水した可能性がございますので、お早めにお近くの時計販売店にご相談ください。
- 水中でのクロノグラフ（ストップウォッチ機能）・リユーズ等の操作はしないでください。
- ※ 浸水の可能性がございます。
- いかなる防水時計でもお風呂、温泉等に入浴の際には、必ず時計をお外してください。
特に温泉成分はパッキンを劣化させたり、化学反応により金属部分も腐食・変色したりしますのでご注意ください。

名 称	仕 様	裏ぶた文字盤の表示例	用途／取扱い注意事項
日常生活用 強化防水時計 (JIS 2種 防水時計)	20気圧防水	WATER RESISTANT 20ATM(20BAR) WATER RESIST 20ATM (20BAR)	水上スポーツ(水泳・ヨット・つりなど)及び素潜り(スキンドайビング)をされる方にお使いいただけます。 飽和潜水用や空気潜水用を使用しないで下さい。
	10気圧防水	WATER RESISTANT 10ATM(10BAR) WATER RESIST 10ATM (10BAR)	
	5気圧防水	WATER RESIST 5BAR WATER 5BAR RESIST	水に触れる機会の多い水仕事(漁業・農業・洗車・食堂など)や水上スポーツ(水泳・ヨット・つりなど)をされる方にお使いいただけます。 素潜り(スキンドайビング)及び飽和潜水用や空気潜水用を使用しないで下さい。 5ATM(BAR)以上の防水時計でも水圧の激しいシャワーや水道水が直接時計に当たらないようご注意ください。
日常生活用 強化防水時計 (JIS 1種 防水時計)	2~3気圧防水	WATER RESISTANT	日常生活での汗や洗顔のときの水滴、雨などに耐えられるものですが、水仕事、水上スポーツ、素潜り(スキンドайビング)、潜水には使用しないで下さい。 水圧の変化が激しい条件では使用しないで下さい。
非防水時計	裏ぶたや文字盤に、WATER RESISTANT等の表示がないものは、直接、水に触れないよう注意してご使用下さい。		

- *注意 使用状況によっては水圧がかかり防水性能を超える可能性がございます。
また、水中などでのリュース操作やクロノボタン操作を行うことは絶対におやめ下さい。時計内部に水が侵入いたします。
また、経年変化によりケースやリュースなどのパッキンが劣化して防水性能が落ちる事がございますので十分ご注意ください。
定期的に防水検査やパッキンの交換をおすすめいたします。
いずれの防水時計も取扱いの方法や注意事項について、十分に確認して使用することが大切です。

(2)海水に浸かったときのお手入れ

日常生活強化防水時計は、ケースに付いた海水をよく洗い落とし、サビが出ないようにしてください。

(ステンレスでも汗、海水などの水分でサビが発生することがあります。)

また、皮革バンドの時計はバンドに水がかからないよう注意してください。

非防水時計はケースに付いた水分をよく拭き取るとともに、時計内部に海水が入っていないかお買い上げの店で確認を受けてください。海水が入ると故障などの原因になります。

(3)温度について

直射日光や高温になるところに長時間放置しないでください。

寒いところに長時間放置しないでください。

「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。

※製品仕様の温度外で長時間放置しますと、故障の原因となったり電池の寿命を早めますのでご注意ください。

また、多少の進み遅れが生ずることがありますが、腕に付けていれば元の精度に戻ります。

(4)ショックについて

軽度のスポーツによる影響はございませんが、野球、ゴルフ等の瞬間的に衝撃があるスポーツの際にはお外し下さい。

※床面に落としたり、激しいショックを与えないでください。

(5)磁気について

家庭用電気製品や、携帯電話などと長時間一緒にしておくと磁気を帯びる事もございます。

※磁石・磁石付き健康機器（肩こり治療器・腕輪など）・電気式麻雀台など強い磁気を発生する物に近づけないでください。

※時計にANTIMAG I.またはANTIMAG II.と表示してあるものは、磁気に対する耐久性を強化しています。なお、この規格を越える強い磁気を発生する機器などに密着または近づけることをおやめください。

●ANTIMAG I.は4,800A/m (60ガウス)

●ANTIMAG II.は16,000A/m (200ガウス) まで耐えることができます。

※強い磁気を発生するところに長時間放置しますと部品が磁化し、故障の原因になりますのでご注意ください。

※磁気の影響を受けると、一時的に進み遅れが生ずることがあります。磁気から遠ざけると元の精度で動きますので、このような場合、再度時刻を修正してください。

(6)振動について

オートバイ・削岩機・チェーンソーなど強い振動が加えられた場合、一時的に遅れることがあります。

(7)化学薬品・ガスなどについて

ガス・水銀・化学薬品(シンナー・ガソリン・各種溶剤またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類)に触れるとケース・バンド・文字盤が変色したり、樹脂部の変色・変形・破損をまねくことがあります。

(8)安定した精度でご使用いただくために

クォーツ時計は、常温(5℃～35℃)で腕に付けたとき、安定した精度が得られるよう調整してあります。腕から外しておくときと多少の進み遅れが生じることがあります。

(9)秒針について

機械内部歯車の関係上、秒針と文字盤インデックスが合わない事がありますので御了承ください。

(10)金属加工について

金属部品の加工特性上、バリ等が発生することがございますので十分に注意してご使用ください。

【皮革・金属・プラスチックによるアレルギーについて】

体質により皮革・金属・軟質および硬質プラスチックで皮膚がかぶれたり、肌に異常がでる場合があります。そのようなときは、直ちに使用を中止し専門医にご相談ください。

【日常のお手入れ】

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにして置くとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
- 時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
- 皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
- 皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
- 金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみ水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。

- ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗淨して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗淨して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
- 非防水時計は、湿度のあるところや汗などににご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
- 日常生活強化防水時計（10気圧・20気圧）を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、真水で洗い乾いた布で水分や汚れを拭き取って下さい。
- 回転式ベゼル・リュース・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
- 時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合がありますので、絶対に付着させないで下さい。

【かぶれやアレルギーについて】

- バンドや時計本体は汚れなどが付着しますと、かぶれやアレルギーの原因ともなりますので、こまめに洗浄などして清潔に保ってください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
- かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
- 腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常が生じた場合は、直ちにご使用をご使用を中止して医師にご相談下さい。

【保管について】

- 「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
- 磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
- 極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
- 強い振動のあるところに放置しないで下さい。
- 薬品にふれるところに放置しないで下さい。
- ライターのガスや防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

【電池交換について】

- 新品の電池を組み込んでからの電池の寿命は、製品仕様による年数に準じます。
 - お買い上げの時計に組み込んだ電池は、モニター用電池です。モニター用電池は、時計の性能・機能を確認するため、工場出荷時に組み込まれるものです。
お買い上げ後、使用年数に満たず電池の寿命が切れることがあります。
モニター用電池は、本体価格には含まれませんので、保証期間内でも電池交換は有償となりますので、あらかじめご了承ください。
- ※電池が切れたまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になります。お早めに電池交換をしてください。
- ※交換電池は、専用電池をご指定ください。
- ※時計の電池交換は、専門の工具・技術を必要としますので、お買い上げ店にお申し付けください。

※取り出した電池は、幼児の手の届かないようにしてください。万一飲み込んだ場合、直ちに専門医にご相談ください。

※取り出した電池は火中に投じないでください。破裂する危険があります。

※電池は、充電式ではありません。絶対に充電しないでください。発熱・破裂の危険があります。

【銀製品について】

- 商品によっては、ケース、バンドが銀や銀メッキのものがあります。銀の性質上、酸化物や硫化物（空気中や人体からの老廃物など、身の廻りに多く存在）と反応し、表面が黒く変色する場合があります。このような時は、銀製品用のクロスなどで拭くと元の色合いに戻ります。

【三針タイプ】（ネジリューズタイプは必ずネジをゆるめてください。）

- 製品仕様
1. 水晶振動数……………32,768Hz（Hz=1秒間の振動数）
 2. 携帯精度……………月差±20秒以内（常温）
 3. 使用電池……………酸化銀電池
 4. 電池寿命……………新品電池組み込み後 約2年間

時刻の合わせ方



リューズを一段引き出すと秒針が止まります。秒針を12時になるよう止めてください。



リューズを回し、時刻を合わせます。



時報と同時にリューズを押し込むと秒針が動き出します。

※時刻合わせは、時報サービスTEL.117番が便利です。

●窓カレンダーモデル

時刻とカレンダーの合わせ方



(1)リューズを一段引き出します。
(リューズは二段引き出せませ
ず)



(2)リューズを回し前日の日付に
セットします。(リューズを
回すと日付が変わります)



(3)秒針が12時の位置にきた
ときに合わせてリューズを
引き出すと秒針が止まりま
す。



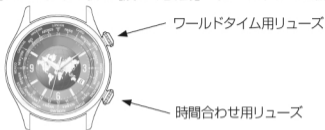
(4)リユーズを回し、時刻を合わせます。この時12時の位置で日付が替わることを確認してください。日付が替わる位置が午前0時です。

※正確に合わせるために長針を正しい時刻より数分進めてから逆に戻し正しい時刻にに合わせてください。



(5)時報と同時にリユーズを押し込むと秒針が動き出します。

【ワールドタイム付きモデル取り扱い方法】（ワールドタイム機能）



時刻合わせの方法

リユースを2段引き上げて回すと、時分針が動きますので現在時刻を設定してください。また、リユースを1段引き上げますとカレンダーの表示日を調整することができます。設定が終わりましたら、必ずリユースを元位置に戻してください。リユースを引き上げた状態ですと、防水性能が維持できず故障の原因となります。

ワールドタイムの使用法

この機能を使うと、世界の主要都市の現時間を知ることができます。

例) 午前6時のロンドンにいて東京（日本）の現時間を知りたい。

1. ワールドタイム用リユースを回転させるとケース内にある都市名の書かれた内転リングが回転します。
2. ロンドンの都市名を内側に書かれた24時間表示の6にあわせます。
3. 都市名の東京が指し示す内側の24時間表示が東京の現時刻になります。この場合は15を指しますので、東京（日本）が15時（午後3時）であることがわかります。

注) 国によってはサマータイムを実施していますので、この時計のワールドタイム機能では時期によっては正確に時間を読み取れない場合もあります。必ず確認していただき目安としてご使用いただきますようお願い申し上げます。

【スモールセコンドモデル取り扱い方法】



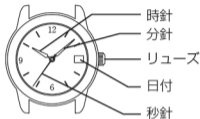
時刻合わせの方法

リューズを1段引き上げて回すと、時分針が動きますので現在時刻を設定してください。
設定が終わりましたら、必ずリューズを元に位置に戻してください。
リューズを引き上げた状態ですと、防水性能が維持できずに故障の原因となります。

このモデルの特徴は通常時針分針と同じ位置にある秒針が6時側にあり
クラシカルな雰囲気と確実に秒が読み取れます。

【自動巻腕時計の使用法】

各部の名称



《製品仕様》

- 自動巻、カレンダー付
- 時間精度：日差±40秒以内
- 防水性：3気圧～20気圧防水

(1)はじめに

使いはじめる時にはリューズを20回位まわしてください。ゼンマイが巻き上がります。巻き過ぎの心配は要りません。また、ネジリューズ式の場合、必ずネジをゆるめてください。

(2)時刻の合わせかた

リューズを二段引きの状態にし、時、分針を正しい時刻に合わせ、リューズを押し込んでください。

(3)日付の合わせかた（カレンダー付タイプのみ）

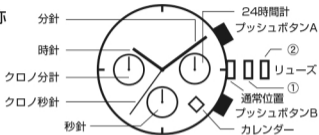
リューズを一段引きの状態ですぐ右に回すと日付の早修正ができます。合わせる日付の前日にして、リューズを二段引き状態で針を回して日付を合わせ、午前と午後を確認してください。セットが終わりましたらリューズを押し込んでください。

【機械式時計のご注意】

- 自動巻き手巻き式時計の故障原因で最も多いのが機械の油切れによるものです。精度が落ちたり、手巻き時計のリューズがスムーズに回らなくなったら油切れの可能性があるので、早めにオーバーホールや点検をして下さい。2～3年ごとに定期的な点検注油を行って下さい。

【クロノグラフモデル取り扱い方法】(OS20)

各部の名称



時刻の合わせ方

1. リューズを②まで引き出します。
2. リューズを回し時刻を合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリューズを通常位置まで押し戻します。

カレンダーの合わせ方

1. リューズを①まで引き出します。
2. リューズを回しカレンダーを合わせます。
3. 合わせ終わりましたらリューズを通常位置まで押し戻します。

*カレンダーは午後9時～午前2時の間は合わせないでください。故障の原因となる場合がございます。

クロノグラフ操作方法

このクロノグラフは1/1秒単位で最大59分59秒まで計測して表示可能です。

スタート/ストップ : プッシュボタンA

リセット : プッシュボタンB

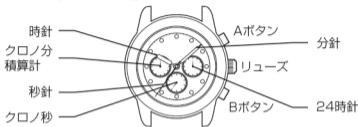
クロノグラフ“0”リセット方法

電池交換を含めクロノグラフをリセットした時に、クロノ秒針が12時（ゼロ）の位置に戻らない場合は、次の操作を行うことにより修正できます。

1. リューズを②まで引き出します。
2. プッシュボタンAを1度押す毎にクロノ秒針が1秒進みますので、12時（ゼロ）の位置にくるまで押してください。この時、プッシュボタンAを長押しするとクロノ秒針が早く進みます。
3. 12時（ゼロ）の位置に戻りましたらリューズを通常位置に押し戻します。

【クロノモデル取り扱い方法】(VD54)

各部の名称



時刻合わせ

リューズを一段引き出して時刻を修正します。この時、24時計の午前と午後にご注意ください。時報に合わせてリューズを元の位置に押し戻しますと、時計がスタートします。

クロノグラフ(ストップウォッチ)操作方法

スタート・ストップ=Aボタン リセット・スプリット=Bボタン

クロノグラフ“0”リセット

リューズを一段引き出してAボタンを2秒以上押し続けるとクロノ秒針が逆回りし、Bボタンを同じように押し続けると正転します。その際、クロノ分積算計も0の位置に合わせ、クロノ秒針も0に合わせて下さい。合わせ終わりましたら、リューズを元の位置に戻せば完了です。

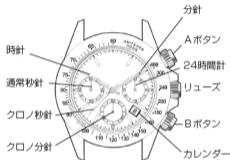
クロノストップウォッチの計測時間は、60分までになります。

日付けの合わせかた

日付け付きのタイプは、リューズを1段引き出しまわすと、変わります。時刻合わせは、リューズを2段引き出してください。精度：月差±20秒以内(常温)

【クロノモデル取り扱い方法】(YM12)

各部の名称



●時刻合わせの方法

リューズを二段引き上げて回すと、時分針が動きますので現在時刻を設定してください。

●日付合わせの方法

リューズを一段だけ引き上げて回すと、カレンダーが回りますので、正しい日付に設定して下さい。

●クロノグラフの使用法

1. クロノグラフの計測方法

Aボタンを押すと、センタークロノ秒針が計測を始めます。計測を終了する時にはAボタンをもう一度押してください。その際にクロノ秒針が止まります。

2. 計測結果の読み方

クロノ分針とクロノ秒針を読んで時間を計測してください。

3. リセットの方法

計測終了後、針を0位置に戻すにはBボタンを一度押していただくくとクロノ秒針と分針針が0位置に戻ります。

●クロノグラフ“0”リセット

出荷時にはクロノ秒針や分針は12時位置を指していますが、誤作動などにより12時位置よりずれてしまう場合がございます。機械の不良ではございませんので、以下の方法で12時位置にお戻しいただけます。

1. リューズを二段引き出してください。
2. Aボタンを2秒押ししていただくくとクロノ分針が回り出します。
3. Bボタンを押していただくくとクロノ分針を動かすことができますので、正しい位置に戻してください。
4. さらにAボタンを2秒押ししますとクロノ秒針が回り出します。
5. Bボタンを押していただくくとクロノ秒針が動きますので、正しい位置までお戻しください。
6. 全て正しい位置までお戻しいただいたら、リューズ戻せば、完了です。

クロノ秒針12時位置設定方法

出荷時にはクロノ秒針や分針は12時位置を指していますが、誤作動などにより12時位置よりずれてしまう場合がございます。機械の不良ではございませんので、以下の方法で12時位置にお戻しいただけます。

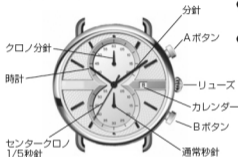
1. リューズを2段引き出してください。
2. Aボタンを2秒押ししていただくとクロノ分針が回り出します。
3. Bボタンを押していただくとクロノ分針を動かすことができますので、正しい位置に戻してください。
4. さらにAボタンを2秒押ししますとクロノ秒針が回り出します。
5. Bボタンを押していただくとクロノ秒針が動きますので、正しい位置までお戻しください。
6. 全て正しい位置までお戻しいただいたら、リューズ戻せば、完了です。

ネジリューズタイプのご注意

1. 時刻合わせする場合には必ずリューズを反時計まわりに回していただき、リューズをゆるめてください。
2. 完全にゆるんだ状態からリューズを一段引き出していただきますと、針を回転していただくことができます。
3. 時刻合わせがおわりましたら、リューズを一段もとに戻していただき、押し込むように時計まわりに最後まで閉まりきるまで回してください。この際、キチンと回して締めていただきませんと防水などの問題が発生する可能性がございますので、十分にご注意ください。

【クロノモデル取り扱い方法】(YM91)

各部の名称



- 時刻合わせの方法
リューズを二段引き上げて回すと、時分針が動きますので現在時刻を設定してください。
- 日付合わせの方法
リューズを一段だけ引き上げて回すと、カレンダーが回りますので、正しい日付に設定して下さい。
- クロノグラフの使用法
1. クロノグラフの計測方法
Aボタンを押すと、センタークロノ1/5秒針が計測を始めます。計測を終了する時にはAボタンをもう一度押してください。その際にクロノ秒針が止まります。
2. 計測結果の読み方
クロノ分針とセンタークロノ1/5秒針を読んで時間を計測してください。
3. リセットの方法
計測終了後、針を0位置に戻すにはBボタンを一度押していただく。クロノ秒針と分針が0位置に戻ります。
クロノは最大12時間まで計測できます。

●クロノ秒針12時位置設定方法

出荷時にはクロノ秒針や分針は12時位置を指していますが、誤作動などにより12時位置よりずれてしまう場合がございます。機械の不良ではございませんので、以下の方法で12時位置にお戻しいただけます。

1. リューズを二段引き出してください。
2. Aボタンを2秒押していただく。クロノ分針が回り出します。
3. Bボタンを押していただく。クロノ分針を動かすことができますので、正しい位置に戻してください。
4. さらにAボタンを2秒押しますとセンタークロノ1/5秒針が回り出します。
5. Bボタンを押していただく。センタークロノ1/5秒針が動きますので、正しい位置までお戻しください。
6. 全て正しい位置までお戻しいただいたら、リューズ戻せば、完了です。

【GMT機能付きシリーズ 取扱説明書】(RONDA 515.24H)

各部の名称



A リューズ B 24時間針 C 12時間針

地球の異なる任意の二ヶ国の時刻を同時に確認することができる時計です。

ゼルのマは文字盤のマ(12時)に合わせている状態です。そして日本時間よりオアデジャネイロより12時間早いのでB 24時間針を 3)のa)操作方法でベゼルに刻んでいます”22”の位置に合わせてます。これで、12時間針が指している時刻がオアデジャネイロ時間になり、24時間針が差している22時が日本時間になります。

*なお、サマータイム等を採用している国もございますので各国の時差は事前にご確認ください。

4) カレンダーの調整方法

A リューズを1段だけ引き出し、時計周りにリューズを回していただくとカレンダーが動きますので、お合わせください。

5) 回転ベゼルの使用方法

回転ベゼルは24時間針にマを合わせるにより経過した時間を24時間まで目安として計ることも出来ます。

6) コンパス機能

24時間針は24時間針としてだけでなく、コンパスとしても使えることも出来ます。日本を含む北半球にいる場合、太陽の方向に短針を向ければ24時間針が目安として北を指します。

ご注意 24時間針と12時間針と同じ時間に設定されている場合のみご利用できます。また、この機能は北半球にいるときのみ利用できます。

使用上の御注意

誤作動により、C 12時間針が多少動いて針ずれのような状態になることもありますが、その際には上記3) 12時間針の使用法の動かしかたを参照いただき、調整いただくようお願いいたします。

このモデルのリューズはねじ込み式になっているため、上記作業の終了時には、必ずリューズを押しながら時計回しにし、確実に閉めこんで下さい。(ロック状態)

リューズの締め忘れは、時計内部に水が侵入して、故障いたします。保証対象外になりますのでご注意ください。

1) 時刻合わせの方法

A リューズはねじ込み式になっていますので反時計回しにリューズを回し、ロックを解除してください。そしてリューズを2段引き上げて回すと、時計と分針が連動して動きますので、現在時刻に設定してください。

2) 24時間針の役割

通常は時計に連動しており、C 12時間針は12時間で一周し、Bの24時間針は24時間で一周します。現在時刻は通常の24時間時間表示しておりますが、Cの12時間針を単独で動かし、海外旅行などの際に現地時間を表示させ、Bの24時間針で日本時間を示し、同時に二ヶ国の時刻を表示させる役割です。また、この機能はあくまでも目安としてご使用ください。

3) 24時間針の動かしかた

A リューズを1段だけ引き出し反時計回りにまわしていただくと、B 24時間針だけ動かすことができます。これを使うと、海外旅行の際にこの通常の12時間針を現地時間に合わせていただくと、B 24時間針は日本の時間を指し示したままですので、簡単なワールドタイム機能としてご使用いただけます。

*例 現在、日本時間でPM10:00だと想定し、旅先はオアデジャネイロとします。まず日本との時差は12時間日本が早いので、1)の通りC 12時間針をオアデジャネイロ時間AM10:00に時刻を合わせます。この時ベ

ゼルは文字盤のマ(12時)に合わせている状態です。そして日本時間よりオアデジャネイロより12時間早いのでB 24時間針を 3)のa)操作方法でベゼルに刻んでいます”22”の位置に合わせてます。これで、12時間針が指している時刻がオアデジャネイロ時間になり、24時間針が差している22時が日本時間になります。

*なお、サマータイム等を採用している国もございますので各国の時差は事前にご確認ください。

【マルチファンクションモデルの使用法】(VX9J)

各部の名称

※このマルチファンクションの時計は、時刻、曜日、日付を表示することが出来ます。

時刻・曜日・日付の合わせ方

【例】例えば10日、月曜日、午後8時に合わせるとします。

1、時間の合わせ方(24時間計、時針・分針・秒針)

リューズを引き上げて下さい。リューズを時計回りに回し、左側にある24時間計の針を20の位置にセット下さい。

24時間計と時針と分針は連動して動きます。

こちらの24時間計により午前と午後を区別することができます。

2、曜日の合わせ方(曜日計)

Aボタンは曜日を合わせるためのプッシュボタンです。

24時間計と時針・分針・秒針がセットできましたら、曜日を合わせます。Aボタンを押し月曜日(MON)に合わせて下さい。

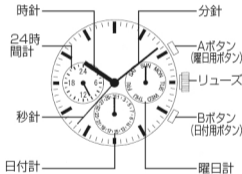
3、日付の合わせ方(日付計)

Bボタンは日付を合わせるためのプッシュボタンです。

Bボタンを押し10になるまでBボタンを押しして下さい。

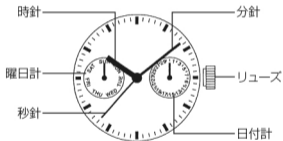
4、最後にリューズを元の位置へ押し戻して下さい。

リューズを元の位置に戻し忘れると、防水が効きませんのでご注意下さい。



【マルチファンクションモデルの使用法】(VX36E)

各部の名称



曜日・時間・日付の順に設定します。

1. 曜日設定

曜日を設定するときはリューズを2段引き出して時間設定の要領で時分針を回していただき午前0時過ぎから午前3時ころの間に曜日がゆっくりとかわります。

曜日設定においてはリューズ1段のみの引き出しではできませんのでご注意ください。

2. 時間設定

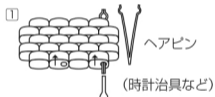
リューズを2段引き出すと時針と分針を回すことができますので時刻を設定してください。

3. 日付設定

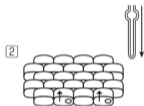
リューズを1段引き出して時計まわりに回しますと日付表示を動かすことができます。午後9時から午前0時の間にセットしますと正確に日付が変わらないことがあります。

【バンド長さ調整方法①】

- バンド調整には工具や技術を必要とする場合があります、誤った作業をするとケガをする場合があります。作業は充分注意をするかお買い上げ店にご依頼ください。



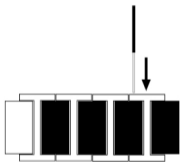
駒外しは治具(時計の工具)などで矢印の方向に押し抜いて下さい。



駒を取り外しもう一度バンドを組み付けるとき、パチンと音がするまで芯を完全に圧入してください。今度は外す時の同じピンの向きで、入れ直して下さい。

【バネ棒式バンドシリーズバンド長さ調整方法】

バネ棒式バンドシリーズのバンドはバネ棒でつながっておりますので、長さを調整するには以下の点にご注意ください。



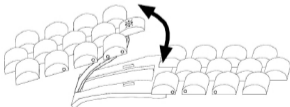
図のように千枚通しのようなものでバンド側面の穴に入れていただき押し込みますと中のバネ棒の頭が押し込まれますので、バネ棒の頭が押し込まれたのを確認してから駒を動かしていただきますと、簡単に駒が外れます。また、バンドを戻す際にもバネ棒の頭を押し込みながら駒をもどしてください。

バネ棒式ですので、図のようにピンを立てても、ハンマーで強く叩いたりしますと、バネ棒やバンドが破損するおそれがありますので、ご注意ください。

【2つ折れ無垢バックル使用方法】



- 1.バンドにマークの入った側面に2つ穴のあいた駒部分を両脇からはさむように持って、引き上げるようにしますとバックルがひらきます。



- 2.閉めるときにはバックル部のマークを押し込んでください。
または、マークの入った側面に2つ穴のあいた駒部分を親指のひらで押し込むようにし、中指をバンド下に入れて挟み込むようにしますと、閉まりやすいです。

【3つ折れ式バックルサイズ調整方法】

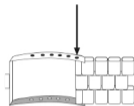


図1

- 1、図1の状態に時計を設置していただき、矢印の位置でバンドとバックルがバネピンにより固定されています。この穴位置に先端の細い物でバネ棒を押し込みながら、バンドとバックルを少し左右に動かすとバネ棒が外れます。

***この作業の際、バネ棒が周りに飛ぶ恐れがございますので、怪我又は紛失にお気を付けてください。**

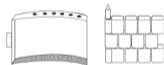


図2

- 2、図2の様になります。

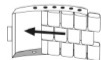


図3

- 3、バックルサイズ調整位置が図3のように右から5番目位置になされたいとします。図2のようにバンドの穴にバネ棒を入れ、バックルの下側の穴位置に入れ固定します。そしてバネ棒を少し押さえ込む様にし上側の穴位置に入れ込んでください。両側が完全に穴位置にはまっていないと、バンドが外れ時計本体が落下し故障の原因になりますので、ご使用前は何回か揺さぶるようにし完全に固定されているかご確認ください。

⚠ セラミック・超硬タングステンモデルのご使用の注意

セラミックやタングステン素材はキズ等が付きにくいという特性がある反面、強い衝撃などには弱い材質となっております。ご使用に当たり、落下や硬い物に強くぶつけないように十分ご注意ください。万一、破損された場合には、切り口が鋭くなる場合もありますので、その取り扱いにも十分ご注意頂き、けが等にお気を付け下さい。また、デザイン上鋭利な部分もありますのでケガや器物の破損等にも十分お気を付けてください。

⚠ アルミニウムモデルのご使用の注意

アルミニウム素材は軽いという特性がある反面、キズや衝撃に弱く、また材質自体が腐食しやすいという性質をもっていますので、ご使用にあたり、落下やぶついたりして強い衝撃を与えないようにご注意ください。また、汗や海水などは腐食の原因ともなりますので、これらの水分等は十分に真水で洗い流すなどしてから十分にふき取り乾燥させるなどお取り扱いにご注意下さい。万一衝撃等を与えてアルミニウムケースやバンドなどが破損した場合は切り口などに注意して、ケガ等にお気を付け下さい。

お買い上げの時計の詳しい情報はホームページに掲載されておりますので、使用方法等おわかりにならない場合はホームページにて御確認下さい。